

みやぎ社保協 FAXNEWS

2024年6月7日 Fri No.1008

「人権としての社会保障制度」 の運動推進を！

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-5-13
宮城県社会保障推進協議会

Tel 022-223-0566 / Fax 022-223-0977

e-mail miyagisyahokyo@bz04.plala.or.jp

子ども医療ネットワークみやぎ 子ども医療費助成制度の拡充を！ 仙台市要請及び県議会議長との懇談



経済的な不安を取り除き、子どもに必要な医療を受けてもらうための医療費助成制度について、医療や福祉に関する県内6つの団体でつくる子ども医療ネットワークみやぎでは、6月3日（月）仙台市を訪問し、制度の拡充を求める要望書を提出しました。

現在、県内の子どもの医療費助成について、ほとんどの市町村が18歳まで医療費を無償化していますが、仙台市と白石市は15歳までとしています。白石市は来年度、対象を18歳まで引き上げる予定となっています。

要望書では、県の合計特殊出生率が全国で2番目に低いことを挙げ、仙台市に対し、助成対象の年齢の引き上げや初診時の一部自己負担の撤廃などを求めました。

同日、宮城県議会へ訪問、県議会議長への＜県乳幼児医療費助成制度拡充を求める＞要望書と要望に賛同する301団体の署名簿を提出しました。

懇談では、少子化は抜き差しならない状況まで進み、特に宮城県では2022年における合計特殊出生率が1.09と東京都に次ぎ2番目に低くなっている現状を指摘しながら、多くの県内市町村独自で18歳まで助成年齢が拡充し、昨年10月には所得制限が撤廃されていることを踏まえ、県乳幼児医療費助成制度のさらなる拡充を求めました。県議会議長からも少子化問題の深刻さを受け止めながら、「県助成制度は全国的に少ない政令都市を含んだ助成対象としている」との発言もあり、今後、県議会での議論を参加者から求めました。（写真／要望書を県議会議長へ手渡す子どもネット代表）

みやぎアピール大行動実行委員会 市福祉プラザ工事期間中の近隣民間施設等利用を！ 「本当に困ってしまいます」



6月6日（木）仙台市が行う仙台市シルバーセンターおよび仙台市福祉プラザの大規模改修工事に伴う、市福祉プラザ工事期間中の近隣民間施設等利用を求める要望書を昨年12月に続き市に提出。アピール等賛同団体から6名が参加しました。市側から「福祉プラザ居住団体がプラザ利用が多く、移転先で独自の会議室利用し、現プラザ周辺施設利用を圧迫させないようにする」と返答していますが、参加者からは、工事に伴うプラザ休館が市民協働を掲げる市の理念反するとして、様々な代替え案の提案や思いを訴えました。今後も継続要望していきます。